

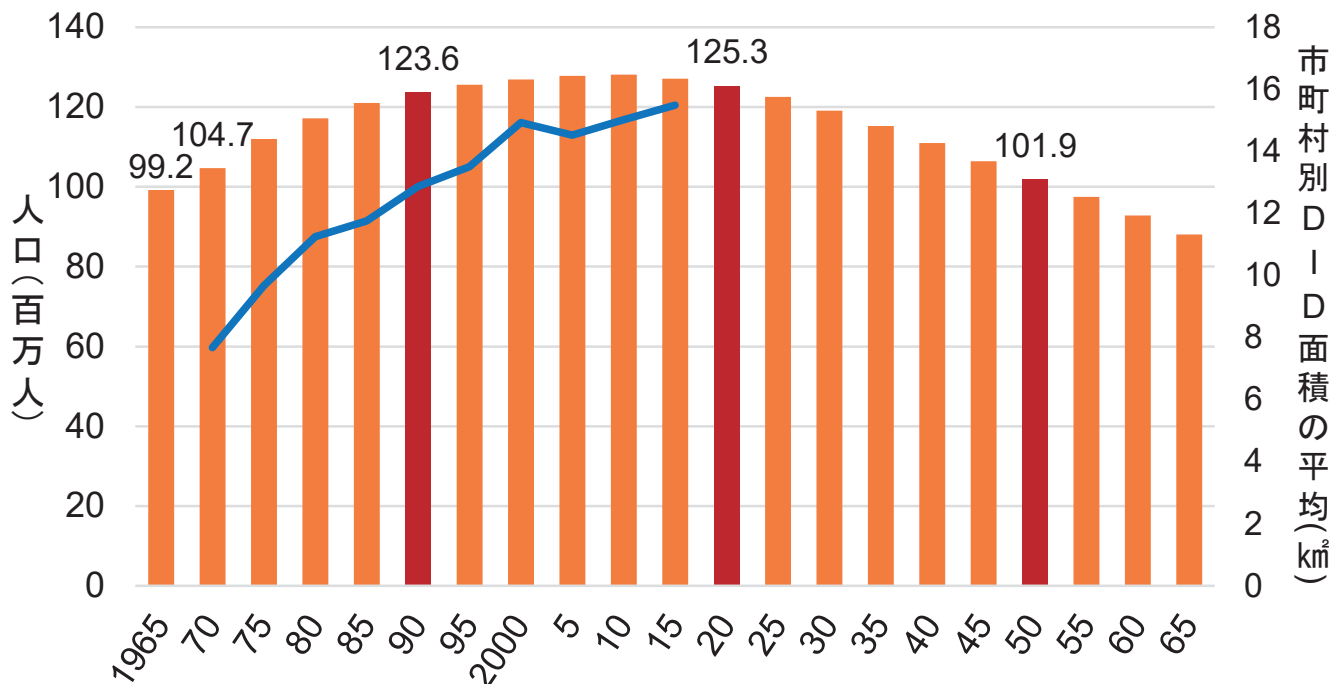
2050の都市を考える

- ✓ 2050の都市はどうなるか？
- ✓ 理想の2050の都市は？

信州大学 工学部 水環境土木工学科 助教
森本瑛士

2050年の人口

2



出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（2021年度版），一般財団法人 土地総合研究所

図 日本の人口推移(推計を含む)

1970→2015

市町村人口：約2割増

DID面積：約2倍

1990

液晶はおまけ



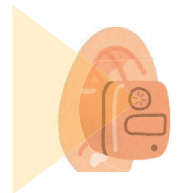
2020

液晶がメイン



2050

空中ディスプレイ？



複数の2050シナリオが必要

ポジティブに考えることが重要（前向きな妄想）

人口減少を前向きに：環境問題 エネルギー制約→効率的な都市に
 ⇔幸せな未来を築くためには辛い未来を想定して回避策も
 考えないといけない

現実的な推移

- ・ 提言書Ver1.0参照
 （コンパクトプラスネットワークを基本としつつ、
 環境の変化やライフスタイル・ワークスタイルの
 多様化に対応していく）
- ・ **想定外の技術発展**
 完全自動運転，空の都市計画，月の都市計画，など
- ・ **想定外の災害多発**
 陸：海＝2：8に変動，完全隔離が必要な感染症，など

完全自動運転

空の都市計画

空のメリット：地上の渋滞に巻き込まれない（空は渋滞しない？）

デメリット：環境負荷増大、通過もされない交通

月の都市計画

✓ 地上に住むか、地下か（隕石対応？）、資源と適正人口

✓ 一般人が居住する必然性（宿泊料を宇宙探求の資金に？）

【蛇足：月の土地】現在、世界的に地球圏外の財産について、法的な整備が整っていない状況なのです。もちろん今後、世界的に法律を整備しようとなった場合、権利の保証はありません。

引用：Lunar Embassy Japan (<http://www.lunarembassy.co.jp/faq/2008/08/-1.html>)

その他

✓ 高齢者が交通弱者ではなく強者かもしれない（パワーアシスト）

➡ 高齢者格差

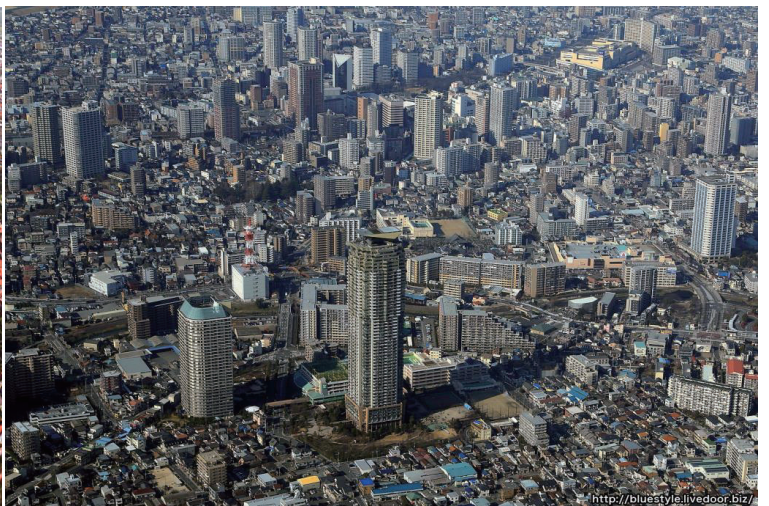
✓ バーチャル空間での現地の完全再現

➡ 現地の魅力をどう捉えるか（見る以外の体験）

など

理想の都市構造は？

Topic1



Topic2

人口減少で空いた面積を

① 縮退・誘導、減築

② 道路・歩行・居住空間の拡充、オープンスペースの利活用、等

③ ①+②

➡ ①：②の比率を考えていくべき？

その際、縮退はどこから？ゆとりをどこにつくる？

（災害危険地域）

独自性
データの共有
も重要



データの規格化
設定の基準値決め
も重要

※つながりすぎに注意

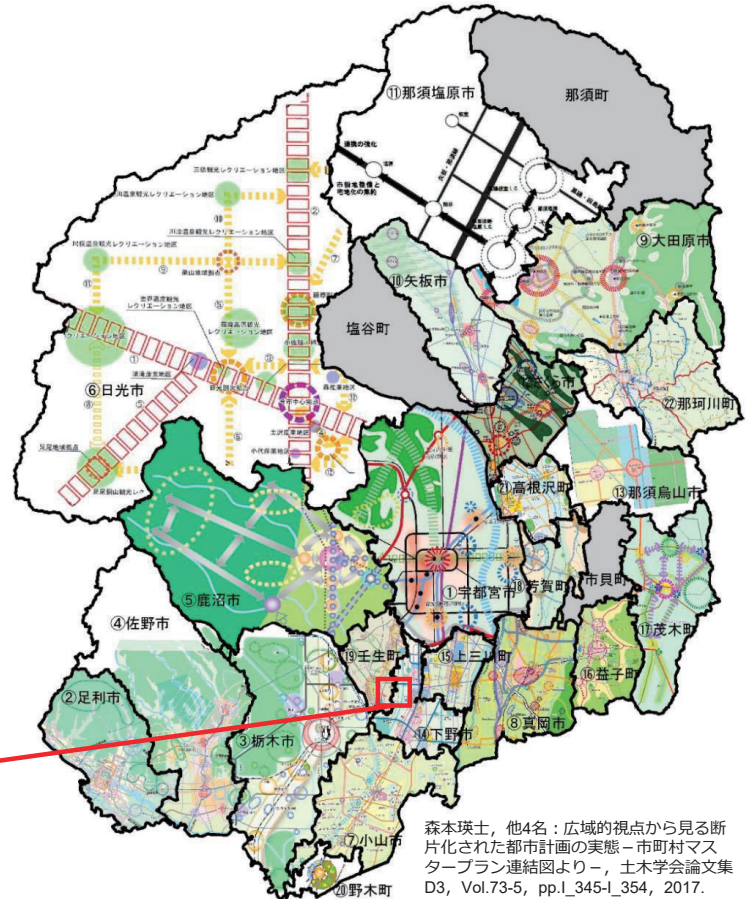
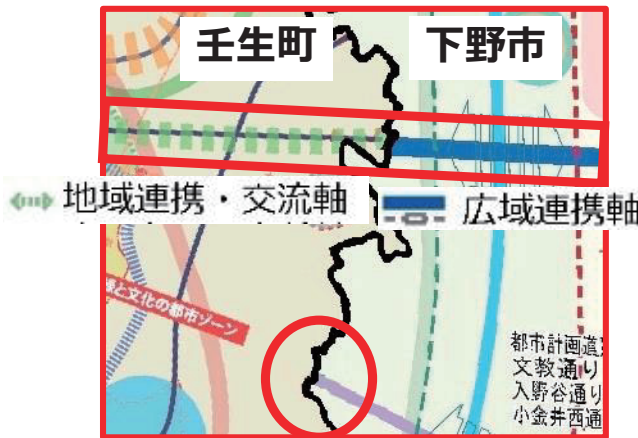


図 市町村マスタープランにおける
将来都市構造図連結図(栃木県)

森本 瑛士, 他4名: 広域的視点から見る断片化された都市計画の実態 - 市町村マスタープラン連結図より -, 土木学会論文集 D3, Vol.73-5, pp.1_345-1_354, 2017.

議論したい点

- ✓ 2050年の都市について (フォアキャストイング)
 - ①現実的な推移
 - ②想定外の推移
- ✓ 2050年の理想の都市 (バックキャストイング)
- ✓ 計画段階でどの可能性まで考慮し, どの可能性までを一般に提示するのか